

いま、変える。あなたの未来

比例代表は立憲民主党へ

コロナ禍での安心

- 検査体制・保健所機能の充実。公立・公的病院の統廃合計画は中止
- 後期高齢者約370万人を対象にした医療費窓口2倍負担は撤回
- 低所得・子育て世帯に1人あたり10万円給付
- 医療・介護事業者への支援金支給

社会が担う子どもの育ち

- 出産費用・高校卒業までの医療費を無償化
- 小中高の少人数学級推進と教員の大胆な増員
- 大学授業料の大幅値下げ、給付型奨学金拡大で教育の無償化へ前進
- 児童手当を1万円増・20歳まで



吉川はじめが実現します

安定した雇用と暮らし

- コロナの影響が縮小するまで消費税率を5%に
- 望めば誰もが正社員として働ける労働法制へ
- 全国一律1,500円の最賃を目標に男女・企業規模間の賃金格差も解消
- 社会保障の自己負担額に上限

平和な未来。地域を活かす

- 農業の戸別所得補償制度の復活で若い世代に安心の就農環境を
- 河川・森林の計画的な整備で減災・災害復旧促進へ自治体職員を増員
- 原子力に代わるエネルギーを確保し、原発に依存しない社会へ
- 平和憲法を外交や暮らしに活かす

政治が変われば暮らしが変わる

コロナ禍で、感染した妊婦の方の入院先が決まらず、お子さんが死産するという痛ましい出来事がありました。

救えるはずの命、救わなければいけない命を守るのは政治の責任。安倍・菅政権がその役割を果たしてきたとは、とても思えません。総理が代わっても、安倍・菅政権の姿勢を引き継ぐ自公政権が続く限りこれまでの政治、私たちの暮らしを

変えることはできません。多くの方々がコロナ禍で苦しみ、不安を抱えています。職を失った女性の非正規労働者。廃業に追い込まれた企業や商店。暴落する商品の買い取り価格に悲鳴を上げる農家の方々——困窮し、苦しんでいる方々の不安を安心に変えていくことこそ政治の役割！

いまこそ、政治を大きく変える時です。

大分2区から実現します。吉川はじめに託してください。

大分県第2区 衆議院議員候補 立憲民主党公認・連合推薦



吉川はじめ公式 WEB サイト

yoshikawa-hajime.com

検索



吉川はじめ

55歳



国を動かす力、充実！

昭和16年生まれ、山奥の農家で育つ。10才、厳しい山村の暮らしの中で「政治家になって村のくらしを守る」と決意。高校は2年間休学し、炭焼きや椎茸栽培に励む。自活しながら早稲田大学で政治学を学ぶ。

- ・早稲田大学政経学部卒
 - ・早稲田大学大学院修了
 - ・珍珠町長(当時全国最年少、29才)
 - ・参議院議員 (36才)
 - ・衆議院議員 (42才)
- 以後12期連続当選

- 国会では
- ・衆議院副議長
 - ・国務大臣防衛庁長官
 - ・外務副大臣
 - ・農林水産政務次官・予算委員長・大蔵委員長・決算委員長 他を歴任
- 現在、党憲法改正推進本部長
党外交渉調査会会長

漁港・漁場・漁村整備推進議員連盟会長、スイス、スウェーデン、オランダ等10数ヶ国の友好議員連盟会長はじめ、超党派の多数の議員連盟会長を務める

日本の課題に 国会の最前線で取り組んでいます。自民党 公認 公明党 推せん

経済回復・社会保障・外交・防衛・福祉
積み上げてきた実績を、確かな政治に活かします。

●コロナ感染症対策
現状への行き届いた対応に加え、新たな感染症を想定した体制づくりが急がれます。国産ワクチン・治療薬の開発に十分な予算措置、非常時の医療体制の整備が必要です。

●災害からの復旧・復興
度重なる災害に、被災地は窮地に立っています。激甚災害指定の復旧対策、災害救助法による支援、特別交付税の加算、被災者の生活再建など、国の手厚い支援が必要です。現場に立ち、地域と国をつなぎます。

●最低賃金引き上げ・国内一元化による地方創生
「地方で働ける、働きたくなる」基盤整備

●戦争のない国、世界平和を守るために
☆憲法を改正して自衛隊を明記
☆近隣諸国からの領土領海を始め、不安定化する世界を見据え、国の安全を守り、世界の平和に貢献するために、安全保障法制の整備と、価値観を共有する国との戦略的連携強化が必要です。

●交通体系の整備
《高速道路建設推進議員連盟会長》
少子高齢化、過疎化が進みます。福祉の財源確保が課題です。

●子育て・介護・医療・年金の財源確保
世界の国々では、20%から27%前後の消費税率で国の財源を確保し、教育・福祉の充実をはかる国が大半です。消費税率10%を堅持して、社会保障の財源にすべて充当します。

●海洋国家日本の海事振興
岸田新総理と、協議を始めました。

●生産者米価の安定に政府の関与

●農林水産業・商工観光業の振興のための予算措置
環境への取り組み・脱炭素社会

子供から高齢者まで、誰もが安心して暮らせる国づくり

高齢化率が40〜45%を超える地域が増えています。スマホで、パソコンで、社会のすべてが動く今、高齢者がネット難民、デジタル難民となる格差社会となり、不利益をこうむる時代となりました。世代間格差が極端に広がる今、過去の戦争の時代、戦後の荒廃から今日の復興までを身をもって体験してきた高齢者の代表として、誰にも優しい政治に徹します。

高齢者の立場に立つて、誰一人取り残さない、全世代参加のデジタル社会を求めます。

子育て支援
高齢者に優しく

中津・日田道路
九州自動車道4車線化



えそう 征士郎

自由民主党公認(大分2区)
衛 藤 せいしろう

衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

明るい選挙

投票日は

10月31日(日)

安心して投票していただけるよう投票所の新型コロナウイルス感染予防対策を実施しております。投票には、備え付けの鉛筆のほかに、ご持参いただいた筆記用具も使用できます。